



## 中近世における宮島の研究

地域連携センター 宮島学センター  
 助教 大知 徳子（おち とくこ）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 宮島学センター（2219室）  
 Tel 082-251-5178（代表）082-251-9550（直通）  
 Fax 082-251-9405（代表）  
 E-mail ohchi@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 日本文化史

キーワード： 宮島、厳島神社、祭、戦国時代

### ● 主な取り組み・活動

○「宮島学」、とくに中近世における厳島神社や大願寺を中心とする寺社の祭礼や行事、厳島神社の社内組織の変動などについて研究しています。近年は、唐菓子「ぶと・まがり」を献上する正月の祭礼や、元亀2年（1571）におこなわれた厳島神社の遷宮等に関して研究しています。

○宮島には、中近世の古文書や建造物など、貴重な資料がたくさん残されています。また、現在、厳島神社など宮島の寺社において執り行われている祭や伝統芸能も、過去の宮島の姿を知るための重要な素材になります。これらの豊富な資料に加えて、本学で収集した宮島関係の資料を調査・研究しています。

○また、厳島神社を訪れた参詣者の日記や紀行文を読解し、土産物として売られた絵図・絵葉書等の調査をすることで、宮島の魅力を再発見することを目指しています。

### ● 今後の目標・抱負

今後も「宮島学」を推進するため、調査・研究を進めていきます。

### ● 地域・社会と連携して進めたい内容

○ 厳島神社の門前町・観光地として、また海上交通の拠点として栄えてきた宮島。同地における人々の営みを知ることは、同じ地域に生きる私

たちにとって有意義なものであると考えます。宮島を訪れる多くの観光客に、あまり知られていない魅力を伝えるための素材として、「宮島学」の研究成果を公開していきたいと思えます。

○「宮島学」に関するお問い合わせは、直接、宮島学センターにご連絡ください。研究成果については、公開講座等を通じて地域の皆さまに公開しています。

### ● これまでの連携事例・実績

○本学主催の公開講座のほか、県内の自治体や図書館等と連携して宮島学講座を行っています。

○また、宮島や廿日市市内の小・中学校の「総合的な学習の時間」や「社会科」の授業に協力し、地域文化の継承者となる人材育成の支援を行っています。主な授業のテーマは、「宮島の歴史と文化」、「宮島と廿日市市の繋がりについて」、「世界文化遺産厳島神社とモンサンミッシェル」等です。